

## 学校教育目標



# 須和田が丘

夢 に向かっていく生徒  
命 を大切に作る生徒  
絆 を互いに深め合う生徒

令和4年度  
学校だより No. 26  
令和4年10月5日

市川市立第二中学校  
校長 石田 清彦

ホームページ <http://www.dai2-tyu.ichikawa-school.ed.jp/>

## 自由進度学習について 1

学校だより No.19 でお知らせいたしました通り、学校評価アンケートの自由記述には、「自由進度学習について」のご意見も多くありましたので、学校だよりで学校の考え方をご説明いたします。なお内容が多いため、「自由進度学習について」を3回に分け、「1」で生徒が作文（投稿文）に記した考えを、「2・3」で学校の考えを記載いたします。学校評価の自由記述のご意見は、「学校評価（前期）の結果」に掲載いたします。

では、自由進度学習について、生徒はどのように考えているのでしょうか。

学校だより No.23 でも紹介いたしました2年生の「新聞への投稿文」のうち「自由進度学習」について書いた投稿文が11本ありましたので、ご紹介いたします。（以下の文章は、内容を整理・要約して記載しています。）

「単元テスト」と同じように、生徒は、それぞれのメリット、デメリットをよく考え、多面的な視点を持って自分の考えを整理していました。

- 僕は2年生になってから学年全体で実施されはじめた自由進度学習により、自分のペースで自分の行いたい学習ができるようになりとても満足しています。僕のように今の学習があうという人はよいですが、今の授業の進め方だとあわないと感じる人も多くいると思います。今の学習があわないと感じる人は自分が行う課題の見つけ方などがわかっていないからだと考えます。自由進度学習は授業の中で自分が学習を進めやすい方法を見つけて、自分に必要な課題を進めていくことが重要だと思います。
- 生徒一人一人が自分で学習する場所・スピード・方法を決めて行う自由進度学習は、今、自分がどのレベルにいて、どんな問題を解けていないのかを理解するのに、とても効果的な方法だと思っています。自分でギリギリでない反省が残るくらいの目標を毎時間決めることで、やる気を高いレベルに保つこともできます。しかし、苦手な人は、時間がかかり、やる気を無くしてしまう人もいるのではないのでしょうか。先生に聞けば教えてくださるはずですが、teams..などにのせてくれたら、誰でも気軽に見る事ができて、良いと思っています。けれど、まずは自分でよく考え、努力する事が大切です。
- ぼくは自由進度学習じゃない学習スタイルの方が良いと思う。理由は、自由進度学習はワークや教科書を使って勉強をするが、初めて勉強する单元などはさっぱり分からない。なのでワークや教科書を使うが、正直ワークなどの説明だけでは、分からない問が出てくる。ワークの説明や教科書の字での説明より、先生が黒板を使って説明して、その説明した場所の問のプリントを使った方が分かりやすいと思う。
- 「学び」は人間に公平であるべきだ。しかし従来通りの授業では、内容を理解していない人がいたとしても、平等に進んでしまうのだ。授業での「学び」は一人一人を待ってはくれないのだ。この現状の打開策として、始まったのが『自由進度学習』なのである。先生の授業動画は、何度でも観返すこともできるうえ、各々が理解できていないところを重点的に考えることもできる。しかし、一斉授業での理解が難しい人が、自らの教科書を読み、画面ごとで授業を受けることで、個人のペースの「学び」になるとは限らない。先生が一人一人に教えればよいという意見もあるが、ただでさえ、めあてとふり返り、ノート、ワークの確認、テストの準備といった作業のある中で、さらに皆に公平に個別で教えるとなると、かなりの重労働だ。だが、より深く「学び」を手に入れている人がいるのも事実、そして、差の生じやすい数学という学問の中で、長年の課題を解決するための可能性であるというのも事実。ただ、残るのは数学の楽しさだけなのだ。『自由進度学習』には、楽しさがない。故に私は、「学び」に大切な「楽しさ」の必要性を唱える。

裏面に続きます

- 自由度学習はあっている人とあっていない人で分かれる。もちろんあっている人にとっては、どんどん学力が伸びていくかもしれない。だがその学習があわない人はどうだろう。さらに、勉強が分からなくなり、学力が上がるどころか、下がってしまう場合もある。そのため、一組は「自由進度学習」、二組は普通の授業、というようにしたらいいのではないのだろうか。この方法などを用いて、一人一人にあう授業方法を進めていくべきだと思う。
- 最初は慣れなかったが、最近になってようやく慣れてきた。友達と一緒にやれたり、わからないところをタブレットで調べられたり、いいこともあるが、その分悪いこともある。今年から単元テストになったこともあり、一つの単元をどこまで勉強できるかが重要になった今、自分の力だけだと、その単元について詳しく知れなかったりと、前の授業の方が良かったと思うことが多々ある。だけど、自由進路学習の方がいいと思う人もいて、僕はタブレットで調べられることをもっと減らしたりして、もっと厳しくすれば、よりよい自由進度学習になると思う。
- 私は初めて自由進度学習を行った。最初の頃はどのようにして授業をしてもらえないのかとても不思議だった。おこなってみて、新しい単元を一人で勉強していかなければいけないことが大変だと思った。友達の意見を聞いてみると、私とはまた違う理由をはなしていた。私はメリットがないなら行う必要はないと思った。しかしある日の授業前に先生は「一人で分からないことは友達と考えると分かるかもしれない。」とはなして、先生には先生なりのメリットの意見があったのだと分かった。
- 最初は不満とかはなかったですが、テストの平均点なども下っていき、だんだんと不安になっていきました。自由学習ではなく、今まで通りの授業の方が良いのかなと思いました。自由学習でのデメリットは集中して授業もやらなかったり、話したりしてしまうので、あまり良くないのかなと思いました。メリットは自立する、1人で勉教するという点だと思います。自分だけでは問題が解けなくて、先生に聞きたいけど聞きに行けない人とかもいると思いました。なので、自由学習ではなく、今まで通りの授業の方が、班で話し合ったりできるので、今まで通りの授業の方がいいと思いました。
- 私としては、数学の授業も他の教科と同じように授業を先生にしてもらった方が良いと思います。なぜなら、自由度学習は自分のペースで勉強に取り組めるのは良いと思うのですが、自分のペースで行うため、逆に皆よりも遅れてしまうのではないかという不安の声もあります。だからもう一度、数学の授業のし方について見直してもらい、改善してほしいなと思います。
- 自由進度学習とは、その名のとおりに授業の進度を学習者自ら自由に決められる自己調整学習の一つの手法です。メリットは自分のレベルでどんどん学習を進められるので、常に刺激的な課題と向き合えます。そのため、成長実感も味わう事ができます。一方でデメリットは学力がつかないという点です。自由進度学習は先に進みたい子にとってメリットはありますが、クラスに必ずいる普通より学力が弱い子はどうでしょう。この子たちは明らかに学力が落ちて行きます。自分的には、自由進度学習ではなく団体授業の方が良いと思います。
- 自由進度学習にすることで友達と教え合ったり、自分に合った勉強ができるという良い点がある。しかし、勉強が苦手な人や塾などに行っていない人が、勉強についていけなくなったり、テストの点や成せさが悪くなるといったような、あまり良くない点もある。僕は自分のペースで自分の学習ができるので、覚えやすいところがあると思う。しかし学校の先生に教えてもらわないと、覚えられない部分もたくさんある。だから、先生がみんなの前で教えるいままで通りの授業も、一週間に一度のペースで行うほうが良いと思う。